

水稻除草剤

サラブレッド^{カイ}KAI[®]フロアブル

イマズスルフロン……………1.7%
 オキサジクロメホン……………0.57%
 ビラクロニル……………3.8%

種類名/イマズスルフロン・オキサジクロメホン・
 ビラクロニル水和剤
 農林水産省登録/第23118号
 毒性/普通物*
 有効年限/5年
 包装/500ml×20、2ℓ×6

特 長

- ノビエに安定した効果(2.5葉期まで)と長期残効性を持つ一発処理除草剤です。
- SU抵抗性雑草および多年生難防除雑草まで幅広く優れた効果を示します。
- 効果の発現が非常に速い特性があります。
- 温度による効果変動が少ない薬剤です。
- 水稻への安全性が高く、田植同時処理にも対応します。

適用雑草と使用方法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

| 作物名 | 適用雑草名 | 使用時期 | 10a当り 使用量 | 総使用回数* | 使用方法 |
|------|---|--------------------------------------|--------------|--|-------------------------------|
| 移植水稻 | 水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ アオミドロ・藻類による 表層はく離 | 移植時 | 500ml | 本剤 イマズスルフロン剤 オキサジクロメホン剤 ビラクロニル剤 1回 2回 2回 2回 | 田植同時 散布機で 施用 |
| | | 移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、移植後 30日まで | | | 水口施用 |
| 直播水稻 | 水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ セリ | 稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで | | | 原液温水散布 又は 無人ヘリに よる滴下 |

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 使用前に容器を軽く振ってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの2.5葉期までに時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので、必ず適期に散布するように注意してください。ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、オモダカ、クログワイは発生前から発生始期まで、コウキヤガラは発生始期まで、アオミドロ・藻類による表層はく離は発生前が本剤の散布適期です。また、オモダカ、クログワイ、コウキヤガラは発生期間が長く遅い発生のもので十分効果を示さない場合があるので、必要に応じて有効な後処理剤との組み合わせで使用してください。
- 散布に当っては、水の出入りを止め湛水状態(水深3～5cm)で本剤が水田全面にいきわたるように散布してください。本剤散布後、少なくとも3～4日間は通常の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。
- 水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させ、処理後田面水が通常の湛水状態(湛水深3～5cm)に達したときに必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。

- 本剤を無人ヘリコプターで滴下する場合は「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機（無人ヘリコプター等）散布・滴下に関する注意」をご参照ください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平作業および植え付けはていねいに行ってください。未熟有機物を施用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 著しい降雨が予想される場合には、除草効果が低下するおそれがあるので使用を控えてください。
- 容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- 軟弱な苗を移植した水田、極端な浅植えをした水田、極端な深水となった水田および砂質土で漏水の大きな水田（減水深2cm/日以上）では、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 直播水稻栽培では、稲の根が露出する条件では薬害が生じるおそれがあるので注意してください。
- 本剤は、その殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これらの作物の生育期に隣接田で使用する場合は十分注意してください。
- いぐさ栽培予定の水田では使用しないでください。
- 本剤を使用した水田の田面水は、他作物の灌水に用いないでください。

■蚕毒

- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人ヘリコプターによる滴下で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

■貯蔵上の注意

- 密栓し、直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。

本資料の記載内容は2024年7月25日現在の登録内容に基づいています。